

各教科と道德の時間、学級活動について

校長 加藤敏久

		各教科	道德の時間	学級活動
本質		科学について学び、それを活用して考える。	人間としてのよりよい生き方について考える。	望ましい集団活動を行いそれを生かして考える。
教科等の目標		◎学力を定着・向上させる。 ・知識、技能 ・思考力、判断力、表現力 ・主体的に学ぶ態度 ※各教科の目標	◎道德的実践力を育成する。 ・道德的価値の自覚の深化 ↓ 何が正しいか、知識を教え込むのではない。人間の本性（気高さと醜さ、強さと弱さなど）に迫るようにする。	◎諸問題を解決しようとする態度や健全な生活態度を育てる。 ・望ましい人間関係の形成 ・よりよい生活づくりへの参画
教員像		豊かな教養と高い技能をもつ教授者	生徒とともに生き方について考える人	学級のよきリーダー
指導と評価の一体化等	本時の目標	◎授業の冒頭で、何ができたらいのか、明確に示す。	◎板書や説明はしない。 ・発問で道德的価値に迫る。	◎活動前に活動の目的と目標、ルールを明確に示す。
	まとめ 終末	◎1時間の学習内容をまとめ、理解度や思考の過程、表現等について確認する。	◎板書の発問と生徒の意見で授業を振り返る。 ◎価値の押しつけや決意表明をさせない。	◎活動を振り返り、目的と目標、ルールについて価値付け、方向性を示す。
	本時の評価	◎本時の目標に照らして観察、記録する。 ・生徒の自己評価も、本時の目標にどのくらい到達したか、評価させる。	◎発言や記録などから実態を把握し、指導に生かす。 ◎指導要録の「行動の記録」に反映する。	◎発言や記録などから実態を把握し、指導に生かす。 ◎指導要録の「特別活動の記録」の評価の観点に照らして評価する。

総合的な学習の時間（教科等横断的、総合的）